

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 チョウタリイの会

1 事業の成果

当期においては、ネパールでの新校舎建設支援活動は順調に行なうことができました。

特にガネーシャ・セカンダリ学校の新校舎建設支援プロジェクトでは、当初の計画では3教室の校舎建設の予定が、パンチカール市長の尽力で同市の予算も加わり4教室の校舎として完成することができました。長年に渡る校舎建設支援プロジェクトを通じて当法人とパンチカール市との間で信頼と友好を深めてきた大きな成果であるものと思います。この成果は、いずれお互いの国民間の友好にも繋がっていくものと思います。当期においてもコロナ禍の影響のため開校式などの交流活動は現地との間で、リモートで行ないましたが、次期においては、ガネーシャ・セカンダリ学校の開校式と2校のE-ライブラリ開館式を現地で行なう予定となっています。

国内の活動では、これまで行なってきた地域の子ども等の見守り支援である「元気ごはん宅食」に加え、子どもやその親が地域や学校で孤立孤独にならないための居場所支援として「元気子どもカフェ」を開始しました。登録者も40名を超えました。地域の悩みを抱える子どもたちにとって安全で楽しい居場所となる役割を果たしていきたいと思います。これらの活動が評価され公益財団法人ソロプチミスト日本財団より活動支援援助を受けることができました。また、国際ソロプチミスト奈良-まほろばからクラブ賞を受賞しました。

● 途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業

当法人では2010年より「ネパールにおける公立学校新校舎等建設支援プロジェクト」を行なっています。当期では、当プロジェクトの28校、29校、30校目としてカブレパランチョーク郡パンチカール市10区のラダ・クリシュナ・ベーシック学校のE-ライブラリ、パンチカール市2区のバクラム・デビ・セカンダリ学校のE-ライブラリ、パンチカール市5区のガネーシャ・セカンダリ学校の新校舎が完成しました。



完成したE-ライブラリ ラダ・クリシュナ・ベーシック学校



完成したE-ライブラリ バクラム・デビ・セカンダリ学校



E-ライブラリの室内 ラダ・クリシュナ・ベーシック学校



E-ライブラリの室内 バクラム・デビ・セカンダリ学校



完成したガネーシャ・セカンダリ学校の新校舎

また当期において、新たにカルタリ・セカンダリ学校（デュリケル市9区）、バル・ジョティ・セカンダリ学校（デュリケル市10区）、ナラヤンシタン・ベーシック学校（パンチカール市7区）の3校のE-ライブラリ開設支援を開始しました。

E-ライブラリ開設支援プロジェクトでは、各校において以下の支援を行ないました。

- ① E-ライブラリの建設
- ② 本棚、テーブル、椅子などの家具の提供
- ③ 図書を提供
- ④ デスクトップコンピュータ6台と関連機器の提供
- ⑤ ネット回線などの環境整備

「E-ライブラリ」とは、デジタルツールを整備したコミュニティ図書館のことです。生徒、教師の他に地域の大人も子どもも利用でき、読書はもちろん6台のデスクトップコンピュータによりインターネットを通じて多くの知識を得ることができます。

ネパールの山間地域のほとんどの公立学校では1台のコンピュータも所有していない状況となっています。また、図書室もなく子どもたちは、満足に読書をすることもできない環境におかれています。

他国の学校では、1人に1台のタブレット端末を使用した教育が行なわれ始めている中で、ネパールの山間地域の公立学校では、情報通信における教育環境が他国と比べてとても遅れています。この状況のままでは、デジタルネイティブ世代であるはずの子どもたちが、デジタル格差となって取り残され、未来の可能性が小さなものになってしまいます。

当法人では、子どもたちに読書ができる環境とコンピュータで多様な知識を得ることができる環境を作ることによって、子どもたちに心が豊かで平和な社会を築いてもらいたいと思います。

ガネーシャ・セカンダリ学校の新校舎建設プロジェクトでは、以下の支援を行ないました。

- ① 4教室の校舎を耐震構造で建設する。
- ② 机、椅子、ホワイトボードを提供する。

ネパールは、内陸国で地理的に貿易による産業が発展しづらい環境となっています。そのため、外貨を得るための手段として多数の若者が安価な労働力として他国への出稼ぎに行きます。また、出稼ぎ先におい

て奴隷労働を強いられている若者も存在します。さらに、児童婚や人身売買も横行しています。ネパールにおいては、教育を充実させ、医療や ICT の技術が発展すれば、自国においての産業が発展し、これらの問題も解消するのではないかと思います。そのためにも、新校舎の建設や E-ライブラリの開館など教育環境の整備が必要となります。

● 「国際交流に関する事業」

E-ライブラリ開設支援にともなって、支援先のラダ・クリシュナ・ベーシック学校、バクラム・デビ・セカンダリ学校の 2 校よりビデオレターを頂き、また開館式をリモートで行い日本とネパールとの交流を図りました。



ラダ・クリシュナ・ベーシック学校の校長



バクラム・デビ・セカンダリ学校の校長



ラダ・クリシュナ・ベーシック学校の生徒



バクラム・デビ・セカンダリ学校の生徒

子どもたちや教師たちからの感謝の言葉から、E-ライブラリが学校だけではなく学校周辺地域にとっても大きな役割や意義があるものであることが実感できました。子どもたちの未来に大きく役立つツールとなるでしょう。

● 「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」

1. HIV 感染者を家族に持つ子どもたち（里子）への就学支援
当法人では、タイにおいて、HIV 感染者を家族に持つ子どもたちを里子として、1996 年より就学のための支援を継続的に行なっています。

また、子どもたちとの手紙やプレゼントをなどによる交流を通して友好を深めています。当期においても、就学支援を行いました。

タイではコロナ禍以降、日雇いで働いている人々の仕事が減少し、それらの人々の生活はコロナがようやく落ち着いた現在においてもとても苦しい状況となっています。里子



里子からの手紙

たちの家庭においても日雇い労働で生計を立てている家族が多く、生活が苦しい状況となっています。HIV感染者を持つ家庭は、概して貧しく、精神的にも疲れており、経済的に子どもを学校に通わせることが困難な状況である場合が多く、そのためそれらの子どもたちは、未来に希望を持つことができない状況となっています。また、その状況は貧困層の固定化につながり次世代においても貧困の連鎖が続く原因となってしまいます。

当法人では、困難な状況にある子どもたちの未来を開くため、それらの子どもたちに就学支援を行ない子どもたちの未来が明るいものになるよう支えていきたいと思ひます。

2. インドのコルカタにおけるスラム地区に暮らす子どもたちへの教育支援

当法人では、2008年度よりインドでの活動として、コルカタのスラム地区に在るフリースクール等に対する支援、煉瓦工場で働く子どもたちのためのフリースクールへの支援を行なっています。

スラムで暮らす子どもたちのほとんどが学校教育を受けることなく、成人へとなり安定した職業に就くことが出来ず、貧困の連鎖が当たり前の状況となっています。

当法人では、貧困の連鎖を打開するためにも教育の重要性をスラムに暮らす人々に認識してもらい、せめてフリースクールにおいて最低限の教育を身につけてもらいたいと考えています。

そのため当期においては、スラム地区にあるフリースクールバシャに対して運営の支援を行なうことにより子どもたちの教育支援を行ないました。



スラム地区のフリースクールバシャ

3. 「元氣ごはん宅食」プロジェクト

「元氣ごはん宅食プロジェクト」(子どもや妊婦への宅食事業)の3期目となります。当期においても引き続き奈良市西部地域において行ないました。

当プロジェクトは、主に一人親家庭にお弁当を中心にお菓子、果物などを毎月2回お届けしています。ご利用家庭の生活状況や体調を見守ることによって状況の悪化の予兆を見つけることを目的としています。

統計によると日本国内の一人親家庭の約半数が相対的貧困の状態となっています。また、経済的な問題だけではなく一人で子育て等の悩みを抱えてしまい、精神的にも大きな負担を感じてしまうこともあります。

一人親家庭においては、親本人が病気になったり、育児不安になったりした場合、自分から役所に相談に行くことが難しくなり、そのため育児を行う事ができず子どもの生命にも関わる問題となってしまいます。そのため、宅食を通しての見守りはとても重要で問題解決の役割を果たすものと思ひます。

3期目となり子どもたち親御さんたちも宅食をととても楽しみにしてもらい、親御さんとも自然な会話が交わすことができ、以前よりもその家庭が抱える悩みや問題をより細かく深く感じ取ることができるようになってきました。

当法人では、困難を抱えている人々が、誰にも相談することなく、一人で悩み苦しんでいる状況を解消して、必要であれば更なる支援につなげて誰一人として決して孤立孤独にさせない社会の構築を目指していききたいと思ひます。



元氣ごはん宅食の準備の様子

4. 「元気子どもカフェ」プロジェクト

当期において 8 月より子どもたちの居場所支援として「元気子どもカフェ」プロジェクトを開始しました。

現在、子どもたちを取り巻く社会問題として、いじめ、不登校、児童虐待、ネグレクト、ヤングケアラー、子どもの貧困などが上げられます。また、文部科学省では、現在の子どもたちは、基本的な生活習慣が乱れ、さらに、他者への思いやる心、規範意識、生命や人権を尊重する心、人間関係を形成する力などが低下傾向にあると指摘しています。しかし、それらの責任は、子どもたちではなく、むしろ大人の責任であるものと思います。

当期において「元気子どもカフェ」は、月に 2 回開催し、絵本専門士や元幼稚園教諭による、音楽、工作、絵本の読み聞かせなどを行い、お菓子の時間も作って、子どもたちが安心して楽しい時間を過ごすことができる居場所を提供しました。この活動では、読み聞かせなどの情操教育を通して、子どもたちが心豊かに健やかに成長することを目的としています。また、子どもやその親が地域や学校などにおいて孤立や孤独にならないよう活動を通して見守りたいと思います。



元気子どもカフェでのクリスマス会の様子

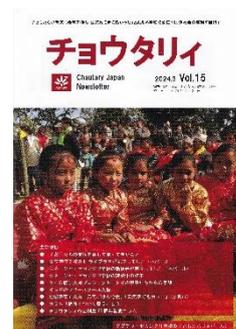
● 「機関紙、刊行物、講演、展示会、映像上映等による広報及び啓発事業」

1. 講演活動

大阪市内で講演を行ないました。人々に当法人の活動を知って頂くことができました。

2. 機関誌等の発行

当期においても、「チョウタリ通信」及び、機関誌「チョウタリ」を発行し、支援者や一般の人々に配布しました。「チョウタリ通信」は主に活動報告を掲載し、機関誌「チョウタリ」では、活動の報告と共にチョウタリの会 30 周年記念として理事全員がコラムを執筆し、支援者に理事各人の活動や人となり伝えることができました。



機関誌「チョウタリ」

● 「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」

奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の「Hug²祭り 2023」、国際ソロプチミスト奈良主催のバザー、奈良県コンベンションセンター主催のオーガニック天平マルシェに出展しました。

また、あやめ池地区民生委員・児童委員協議会主催の「お餅つき大会」に場所の提供、開催準備のお手伝いなどの協力を行ないました。さらに、公益財団法人ソロプチミスト日本財団より活動支援援助を受け、国際ソロプチミスト奈良-まほろばからクラブ賞を受賞しました。



国際ソロプチミスト奈良バザー



お餅つき大会



国際ソロプチミスト奈良-まほろば表彰式

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいて HIV に感染している家族を持つ子どもたちへの就学支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン 県、 バンガー県	2名	HIV 感染者を家族に持つ子どもたち 10人	400
	インドのスラム地区のフリースクール、小学校及び煉瓦工場で働く子どもたちへの教育及び保険支援を行なった。	8月	インド 西ベンガル州 コルカタ	1名	スラム地区で暮らす子ども等多数	433
	ネパールにおいての医療支援のあり方等、現地のカウンターパートとリモート等で協議した。	通年	奈良市	3名	当該地域の住民、医療従事者等多数	62
	子ども育成支援において「元気ごはん宅食」として一人親家庭等にお弁当やお菓子、果物、お米などの配付を行なうことにより利用家庭の見守り支援を行ない。また「元気子どもカフェ」として子どもたちに、音楽、工作等の情操教育を行い、お菓子等も提供して地域や学校等で孤立孤独に陥らないように安全で楽しい居場所支援を行なった。	通年	奈良市	5名	奈良市が支援を必要とした家庭の子ども及び妊婦 25名 孤立孤独を感じる子ども 50名	1,188
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて、山間部の公立学校3校にE-ライブラリ（デジタルツールを備えた図書館）の建設支援及び公立学校1校の新校舎建設支援を行なった。	通年	ネパール カブレパラン チョーク郡 デュリケル市 パンチカール市	3名	図書館及び校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等	11,233
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るた	インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産行為を行っている助産院	今年度は実施せず				

めの協力事業	への支援					
地球環境問題解決のための緑化推進活動等による環境保全事業	地域における緑化運動推進のためのローズマリー等の苗木作り及び植樹活動	今年度は実施せず				
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	タイのムクダハン県等におけるエイズ予防セミナーの実施	今年度は実施せず				
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	タイのバンコク等におけるエイズ患者の家族に心穏やかに安心して暮らせる住居の提供及びエイズ患者家族に対する生活支援	今年度は実施せず				
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	自立を目指す人々の製品の技術等の支援及び日本国内での製品の紹介等	今年度は実施せず				
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	国際社会における貧困、格差、紛争、地球環境等の諸問題における調査及び研究活動	今年度は実施せず				
機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	支援団体において事業活動等についての講演を行った。	8月 9月 10月	大阪市	3名	支援者 約500人	68
	機関紙「チョウタリイ通信」ニュースレター「チョウタリイ」を作成した。	6月 3月	奈良市	2名	不特定多数	184
社会教育及び政策提言事業	ボランティア講座の開催	今年度は実施せず				
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	国際ソロプチミスト奈良主催のバザー、奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の「Hug ² 祭り」、奈良県コンベンションセンター主催の「オーガニック	12月 3月	奈良市	3名	来場者等 多数	30

	天平マルシェ」に出展した。					
	あやめ池地区民生委員・児童委員協議会主催のお餅つき大会の開催に、開催準備、場所の提供等の協力をした。	11月	奈良市	4名	あやめ池地区住民 約150名	3
災害復興協力事業	サラスワティ・ベーシック学校（ネパール）の復旧のための協議を現地カウンターパートとリモート等で行なった。	通年	奈良市	3名	当該被災学校の生徒、教師、周辺住民 多数	37
国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおいて E-ライブラリ開設支援を行った学校2校とのリモート等による開館式を行なった。また、次期の4月に行なう3校の E-ライブラリ開館式、1校の新校舎開校式のためのプロジェクトを開始した。	8月 3月	大阪市	5名	当該 E-ライブラリ開設学校2校の生徒、教師、周辺住民等 多数	828

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
イベント開催事業	手工芸作家等による作品展の開催	今年度は実施せず			
文化教育事業	手芸、音楽等の文化教室事業	今年度は実施せず			

* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。